



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2019 5 月号
Vol.99
毎月1回発行(通巻99号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/>

第8回「全国医療経営士実践研究大会」仙台大会

2日間の大会プログラムが決定! 経営人材に不可欠な現場力を高めよう

●第8回仙台大会 大会プログラム

1日目 11月9日(土) 開場12:30	
13:00~13:25	開会挨拶
13:25~14:25	基調講演 地域を動かす医療機関経営のイノベーション —— エリアマネジメントから考える人材確保・教育の重要性と具体策 栗谷義樹(地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構日本海総合病院理事/地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット代表理事)
14:35~15:15	医療経営士 講演1 企画・提案・実践によって成果がでた事例(仮) 小野寺和清(医療法人医徳会真壁病院医事課課長)
15:15~15:55	医療経営士 講演2 タイトル未定 崎山晶子(石巻市立病院看護部看護部長)
15:55~16:35	医療経営士 講演3 医薬品卸企業の医療経営士の役割と方向性(仮) 河内勇人(東北アルフレッサ株式会社営業本部関連事業部長)
16:45~18:15	第1回(2019年度)懸賞論文「日本医療経営実践賞」表彰式・講演・ディスカッション 尾形裕也(「医療経営に関する研究助成」選考委員長/九州大学名誉教授) 第1回「日本医療経営実践賞」受賞者
18:30~20:30	懇親会(全国医療経営士情報交流会)
2日目 11月10日(日) 開場8:00	
8:30~8:35	審査委員長メッセージ 発表にあたり 吉長成恭(公立大学法人県立広島大学大学院経営管理研究科[MBA]客員教授)
8:35~8:40	審査委員紹介
8:40~11:55	演題発表セッション1~2【支部推薦①~②】 テーマ:新たな「企画」「提案」「実践」が医療を変える!
11:55~12:45	休憩・ランチョンセミナー(予定)
12:45~14:55	演題発表セッション3【公募】 テーマ:自由
15:00~16:00	特別対談 地域を動かす! 医療を変える! 今こそ求められる「病院経営イノベーター」への期待と役割 真野俊樹(中央大学ビジネススクール大学院戦略経営研究科教授) 病院経営者(交渉中)
16:05~16:25	講評・表彰
16:25~16:30	閉会挨拶

※4月19日現在、敬称略。プログラムは諸般の事情により変更になる場合がございます。

日本海ヘルスケアネット
代表理事・栗谷義樹氏が
基調講演

大会1日目は、主催者、大会運営委員長による挨拶のあと、日本海ヘルスケアネット代表理事の栗谷義樹氏による基調講演「地域を動かす医療機関経営のイノベーション——エリアマネジメントから考える人材確保・教育の重要性と具体策」で幕が上がる。日本海ヘル

大会2日目は、主催者、大会運営委員長による挨拶のあと、石巻市立病院看護部看護部長の崎山晶子氏、東北アルフレッサ株式会社営業本部長の河内勇人氏、所属先における医療経営士としての役割や実践事例を紹介する。職種異なる3人が語る具体的かつ等身大の現場力は、参加者が自身の活動を考えるうえで、重要なヒントになるだろう。

1日目の最後は、第1回

11月9日(土)・10日(日)にホテルメルパルク仙台で開催される第8回「全国医療経営士実践研究大会」仙台大会の大会プログラムが決定した。6月には大会参加ならびに演題発表登録のエントリーが開始される。前回大会の演題発表で受賞された5人(組)の医療経営士から届いたメッセージ(2面)とともに、本大会のプログラムの概要を紹介する。

第8回 全国医療経営士実践研究大会

2019年
11月9日(土)
11月10日(日)

会場 **ホテルメルパルク仙台** 仙台市宮城野区榴岡5-6-51

仙台大会

地域を動かす 医療経営士の現場力

——新たな「企画」「提案」「実践」が医療を変える!

委員長 **濃沼信夫** 東北医科薬科大学医学部教授・病院長補佐/
日本医療経営実践協会東北支部支部長

6月より参加エントリー
演題発表登録の受付開始!

同時開催
第1回(2018年度)
「医療経営に関する研究助成」
最終報告会

[指定課題]
「医師・看護師等の働き方改革」
11月9日(土) 8時30分~

【事務局】 一般社団法人 日本医療経営実践協会 ☎03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutaikai/>

懸賞論文「日本医療経営実践賞」の表彰式・講演・ディスカッションだ。第2回「医療経営に関する研究助成」で創設された同賞の表彰式のもと、受賞者による講演と選考委員長の尾形裕也氏（九州大学名誉教授）によるディスカッションが行われる。受賞論文の内容をさらに掘り下げる意見交換に注目したい。

終了後は、全国から集まった医療経営士や協会関係者と親睦を深め、情報交換を図ることを目的とした懇親会が開催される。

「支部推薦」と「公募」で選ばれた演題発表者が登壇

大会2日目は、いよいよ医療経営士による演題発表だ。演題発表者は前回大会同様、全国8支部から代表者を1人（組）ずつ選抜した「支部推薦」と自由応募枠となる「公募」の2部門、3セッションに分かれ、「支部推薦」は大会テーマに沿った発表内容、「公募」はテーマを自由とし、幅広い内容の実践活動を報告する。発表時間は約15分、「公募」は医療機関内外から5〜6人が登壇予定。

審査委員長は、当協会参与で、県立広島大学大学院経営管理研究科（MBA）客員教授の吉長成恭氏が務

め、各セッションではディスカッションと質疑応答が行われる。演題発表は自身の日頃の活動を振り返るとともに、その成果を医療経営士同士で共有する場でもある。我こそはと思う方からの挑戦をお待ちしている。

演題発表のあとは、当協会参与で、中央大学ビジネススクール大学院戦略経営研究科教授の真野俊樹氏がモデレーターを務める特別対談「地域を動かす！医療を変えよう！今こそ求められる『病医院経営イノベーター』への期待と役割」を実施。対談相手は交渉中だが、東北を代表する病院経営者を予定している。

その後は、吉長氏による演題発表の講評および受賞者の表彰式が行われ、閉会挨拶「次回大会開催に向けて」で、2日間の大会は幕を閉じる。なお、今大会では1日目の午前中に、第1回「医療経営に関する研究助成（指定課題・医師・看護師等の働き方改革）」の最終報告会を開催。参加費無料なので、早めに会場へ足を運んでいただきたい。大会参加ならびに演題発表登録のエントリーは、6月より協会ホームページで受付開始。全国各地から多くの医療経営士が集う、実りある大会としたい。

**院内での評価が高まり
経営企画室立ち上げを実現**



[審査委員奨励賞]
西尾 雅夫氏
医療法人おもと会大浜第一病院
事務部事務次長兼経営企画室長

医療経営士という資格は、医療機関に勤務する事務職員に「経営」という極めて専門性の高いテーマを与えてくれました。そして、経営の専門家である医療経営士が集う全国大会は、事務職員が積極的に発表できる貴重な場であると考えます。

札幌大会で審査委員奨励賞を受賞したことで、理事長や院長にも評価していただき、経営企画室の立ち上げなど、私の企画が実現することが多くなりました。また、札幌大会に同行した新人スタッフが、医療経営に興味を持ってくれたことも、うれしい成果です。

われわれ医療経営士の努力によって、専門性の高い医療従事者の生産性を向上させることで、医療機関の付加価値を高めることができます。共にがんばりましょう。

**演題発表が医療経営士の
輪を広げるきっかけに！**



[イノベーション賞]
松井 隆史氏
白山石川医療企業団公立松任石川中央病院
管理部総務課課長補佐

自分がこれまで行ってきた医療経営士としての取り組みを振り返り、次のステップへつなげることができればという思いで、札幌大会の演題発表にエントリーしました。イノベーション賞を受賞したことは大きな自信になりましたし、院外の医療経営士の方から声をかけていただくなど、医療経営士の輪を広げるきっかけにもなっています。

全国大会での演題発表は準備などが大変ですが、人に伝える形に仕上げていく過程で自分の考えを整理することができます。また、ほかの発表者から経営改革に取り組んでいる様子を聞くことができ、その熱い想いに感銘を受けました。

演題発表に挑戦することは、これまで積み上げてきた成果を発表しディスカッションする機会となり、次の一歩につながるものと思います。

**演題発表への挑戦で得られる
価値は計り知れない**



[審査委員奨励賞]
立川 洋一氏
社会医療法人敬和会大分岡病院
院長

「全国医療経営士実践研究大会」は、医療経営に関する発表の場としては非常にレベルが高いと思うかと思っていましたが、思った以上に素晴らしい研究発表ばかりで、大変感銘しました。

札幌大会で名誉ある審査委員奨励賞を受賞することができ、受賞後には、雑誌の取材を受けました。その記事は病院の広報としても貴重なものになっています。また、札幌大会での受賞内容を院内のみならず法人全体に報告しましたので、医療経営に関する諸活動を「見える化」して世に問うことの重要性を、多くの法人職員が認識できたのではないかと思います。

全国大会への参加、特に演題発表への挑戦は、医療経営の視野をさらに広げるといえる意味において、得られる価値は計り知れないものとなるでしょう。ぜひ、皆さんも挑戦してみてください。

**自己成長を体感できる場
視野が広がり、能力も向上する**

[審査委員特別賞] **日本医療経営実践協会 北陸支部**
西田 智之氏 浅ノ川総合病院経営企画・広報室副室長
吉田 史志氏 公立松任石川中央病院医療情報課主任
山田 竜也氏 やわたメディカルセンター地域連携部医療連携支援課課長

西田氏：全国大会は、医療経営士の仲間から刺激を受ける場です。演題発表を通じ他院の取り組みを知ることで、自らの業務内容を振り返り、反省すべき点は素直に反省するなど、業務改善のきっかけとなる絶好の機会となっています。

吉田氏：受賞をきっかけに、医療経営士同士の交流が増えました。当院には医療経営士が20名近く在籍していますが、何か壁に突き当たった際、意見交換するように心がけています。それぞれの立場からの意見を聞けるため、視野が広がります。

山田氏：演題発表は自己成長を体感できる数少ないチャンスです。資料づくりで論理的思考力を高め、発表でプレゼン能力を高め、他の人の発表から課題抽出能力を高めることができます。ぜひ一度、発表に挑戦することをお勧めします。

**札幌大会受賞者が語る
全国大会 &
演題発表の魅力**

仙台大会の演題発表に
挑戦するのはあなた！

**札幌大会での受賞で
拓かれた新しい道**



[北海道支部長賞]
梅本 豊氏
医療法人恒昭会藍野病院
地域医療連携センター地域医療推進室室長

医療経営士が一堂に会して、互いの医療マネジメントスキルや経営課題の解決方法を報告し合い、シェアする重要な場が全国大会であると考えています。シェアした見識は、直面しているさまざまな問題や困難を解決する糸口になります。

札幌大会での演題発表への挑戦は、業務のブラッシュアップにつながりました。また、自らを取り巻く多くの人たちの支えを再認識する機会にもなり、かけがえのない経験を得ました。北海道支部長賞受賞は、自らを支える根拠となり、新たな道が拓けたように思います。現在は、2019年度研究助成の指定課題に取り組んでいるところです。

仙台大会でも、同じ目標に向かって研鑽を積む医療経営士の皆さまと、さらなる共有と進展を目指したいと考えています。

日本医療経営実践協会では 参議院比例区(全国)に 立候補予定の小川眞史理事を 推薦しています

当協会の小川眞史理事が7月の参議院比例区(全国)に立候補予定です。小川理事に抱負をお聞きました。

元号が「令和」になりました。そして、令和7年(2025年)には団塊の世代がすべて後期高齢者(75歳以上)となり、国民医療費も57.8兆円になると見込まれています。このような医療を取り巻く社会変化のなかで、私たちがまず考えなければならないのは治療を受けなくてもよい健康な高齢者を増やしていくことです。それには、まず健康診断を受けて、病気になる前に予防すること、そして、もし病気になったとしても重篤になる前に早期の治療ができるようにすること、その意識を持つことが非常に重要になってきます。

私は臨床検査業界に40年間携わってきた経験を踏まえ、病気を未然に防ぐために、セルフメディケーションのさらなる普及を進め、未病分野への臨床検査の安全性と信頼性及び利便性を向上する体制を確立させるとともに、医療情報提供制度(ICT化)による持続可能な地域を超えた診断支援情報の提供と、医療分野での共通サービスの構築を進めていきたいと考えています。

●後援会事務局ホームページ
<http://ogawa-s.net>



2020年、160万人の外国人患者を 医療の現場はどのように受入れるのか

2018年の訪日外国人は、3,000万人。さらに政府は、20年までに4,000万人に増やす目標を示している。

一方、訪日外国人の約4%が滞在中に医療を必要とする状況になるとのデータがある。4,000万人とすれば、160万人を超える外国人を日本の医療機関は受け入れなければならない。しかも、日本語が喋れない、文化・風習も異なる、日本の医療制度も理解しない外国人である。

グローバル化による人の流動化が加速するなか、日本の医療機関は、診療を必要とする訪日外国人を適切に受入れるための体制の整備が急務となっている。そこで注目されているのが、JMIP*である。

一般財団法人日本医療教育財団が運営するJMIPは、訪日外国人が安心・安全に日本の医療サービスを受入れるように、医療機関の外国人受入

れ体制を中立・公平な立場で評価する認証制度である。

海外の医療機関や医療事情に明るい編著者が、医療の国際化の流れとJMIPの意義を概観しながら、日本の医療機関がなすべき国際化の方向性を示す。また、日本医療教育財団によるJMIP認証のしくみから取得のコツの解説、さらには認証病院の事例を通して、国際化に向けて取り組むべき実践的戦略がわかる一冊である。

好評発売中!

医療経営士テキスト必修シリーズ4
『インバウンド時代を迎え撃つ
医療の国際化と外国人患者の受け入れ戦略』

編著者：真野俊樹
(中央大学大学院戦略経営研究科教授/多摩大学大学院特任教授)
■定価：1,620円(本体価格1,500円+税)
■体裁：B6判並製/178頁
■発行：株式会社日本医療企画

*JMIP(Japan Medical Service Accreditation for International Patients):外国人患者受け入れ医療機関認証制度

朝日大学主催「医療経営士養成プログラム」 医療経営指導士・網代祐介氏が登壇!

朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」の最終講義および閉講式が3月28日(木)に行われ、医療経営指導士・医療経営士1級の網代祐介氏(社会医療法人社団光仁会第一病院医療福祉連携室室長)が最終講義の講師として登壇した。

同講座は、朝日大学と大垣共立銀行の産学連携協定に基づく連携事業の一環として、2018年4月に開講。受講生は1年間、合計120時間以上にわたり医療経営にかかわる知識、実践的な技能を体系的に学び、朝日大学病院をはじめ、近隣の病院を見学する全3回のフィールドワークなどにも取り組んだ。その集大成として「医療経営士3級」資格認定試験の合格を目指している。



最終講義の講師を務めた網代氏

最終講義で医療経営士を代表して登壇した網代氏は、「地域社会連携と医療経営士」をテーマに講演。所属先で取り組んできた経営改善事例などを挙げながら、医療経営士としてどのような考え、活動してきたのかを紹介し、受講生の今後の活躍に期待を寄せた。続いて行われた閉講式では、朝日大学の大友克之学長が修了者一人ひとりに履修証明書を手渡し、「1年間の学習成果をそれぞれの職場で発揮し、生涯にわたる学びを継続してほしい」とエールを贈った。

2期目となる2019年度の同講座は4月18日(木)に開講。開講式には受講生30人が参加した。こうした取り組みが全国の教育機関へ広がることを期待したい。

ともに学び、ともに考え、ともに成長する “石井ゼミ” in 東北

採用される企画を提案しよう!

【講師】 石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)

開催日時	テーマ
第1回 5月11日(土) 14:00~17:00	【情報収集・分析】 問題・課題の発見、市場分析
第2回 7月13日(土) 14:00~17:00	【企画・提案】 新規事業企画、業務改善提案など
第3回 9月7日(土) 14:00~17:00	【実践】&【講義】 模擬プレゼン/まとめ

【会場】 PARM-CITY131貸会議室
(宮城県仙台市青葉区一番町3-1-16/JR仙台駅徒歩11分)

【受講料】 会員・定期:全3回12,000円/各回5,000円
※税込
一般:全3回27,000円/各回10,000円
※定期は『月刊医療経営士』『フェイズ・スリー』『クリニックばんぼう』定期購読者、各回終了後に懇親会を予定(会費4,000円程度)

【共催】 株式会社日本医療企画 ほか

第26回「医療経営士3級」資格認定試験 結果概要

2,577人が受験、新たに1,025人の合格者が誕生!

3月3日(日)、第26回「医療経営士3級」資格認定試験が全国49会場で行われた。2,577人が受験し、1,025人が合格した。これにより、医療経営士3級の受験者は累計3万7,931人、累計合格者数は1万6,974人となった。2018年度に行われた第24、25、26回3級試験を概観する。

3級受験者、累計4万人突破が目前! 製薬業界において急増する受験者・合格者

2018年度3級試験概要

第26回3級試験の受験者、合格者、試験結果に関する詳細分析は、4月3日付けの協会プレスリリースをご覧いただきたい。本欄では、18年度の3級試験(第24、25、26回)を通過で概観する(表)。受験者数はいずれも2200人を超え、同様の傾向が続けば、次回6月の第27回試験で、受験者の累計が4万人を突破するのはほぼ確実である。「年齢別構成」では、30歳以上39歳以下および40歳以上49歳以下で全受験者の60%以上を占め、「男女別構成」では、女性受験者の占める割合は12~13%台に止まっている。「都道府県別受験者・合格者構成」の1~3位は、東京都、大阪府、神奈川県に限られ、全体的な傾向はほぼ固定化されていると言えよう。

製薬業界挙げての資格取得

顕著に見られる特徴は、「医薬品製造・卸売」従事者の受験者数および合格者数がいずれも全体の50%以上を占めている点である(第24回のみ合格者の割合

において49.7%と若干下回る)。

第23回試験までは、「医療関連企業勤務者」内に含まれていたが、各企業や業界を挙げての資格取得への取り組みによる受験者数の急増に伴い、第24回試験より分離集計することとなった。受験者急増の流れは13年の第9回から15年の第15

回にかけて受験者数が全体の5割を超えていた金融機

関勤務者を彷彿させ、現在の受験者層の中心が、金融業界から製薬業界へとシフトした証左と見られる。40%を切った第26回合格率

また、第26回の合格率は39.8%となった。合格率が40%を下回ったのは、今年以外に過去5回ある。11年の第4回(23.2%)がワーストで、14年から15年にかけての第8回(31.9%)、

第9回(32.9%)、第10回(34.9%)および17年の第20回(38.9%)だ。第21回以降は45~47%台の合格率で推移していたが、18年7月の初級テキスト全8冊の改訂に伴う出題問題の大幅な変更等の影響と見られる。

原点回帰という意味でも、医療経営士として必要な知識が体系化され、最新情報が加えられた改訂版テキストの精読・習熟に努めていただきたい。

表	2018年度 3級試験結果	第24回 (2018.6.17)	第25回 (2018.10.14)	第26回 (2019.3.3)	第24~26回 (累計)	第1~26回 (累計)
全体	申込者数	2,927	2,619	2,823	8,369	42,253
	受験者数	2,519	2,219	2,577	7,315	37,931
	受験率	86.1%	84.7%	91.3%	87.4%	89.8%
	合格者数	1,151	1,012	1,025	3,188	16,974
	合格率	45.7%	45.6%	39.8%	43.6%	44.7%
病医院 勤務者	受験者数	226	337	343	906	
	全体割合*1	9.0%	15.2%	13.3%	12.4%	
	合格者数	115	161	161	437	
	全体割合*2	10.0%	15.9%	15.7%	13.7%	
	合格率*3	50.9%	47.8%	47.0%	48.2%	
医療関連 企業	受験者数	523	321	338	1,182	
	全体割合*1	20.8%	14.5%	13.1%	16.2%	
	合格者数	295	179	122	596	
	全体割合*2	25.6%	17.7%	11.9%	18.7%	
	合格率*3	56.4%	55.8%	36.1%	50.4%	
医薬品製造・ 卸売	受験者数	1,292	1,161	1,375	3,828	
	全体割合*1	51.3%	52.3%	53.4%	52.3%	
	合格者数	572	509	545	1,626	
	全体割合*2	49.7%	50.3%	53.2%	51.0%	
	合格率*3	44.3%	43.8%	39.6%	42.5%	
金融機関	受験者数	287	191	257	735	
	全体割合*1	11.4%	8.6%	10.0%	10.1%	
	合格者数	92	70	92	254	
	全体割合*2	8.0%	6.9%	9.0%	8.0%	
	合格率*3	32.1%	36.7%	35.8%	34.6%	
大学生・ 短大生	受験者数	8	26	38	72	
	全体割合*1	0.3%	1.2%	1.5%	1.0%	
	合格者数	4	8	11	23	
	全体割合*2	0.4%	0.8%	1.1%	0.7%	
	合格率*3	50.0%	30.8%	29.0%	31.9%	
その他 (個人等)	受験者数	183	183	226	592	
	全体割合*1	7.3%	8.3%	8.8%	8.1%	
	合格者数	73	85	94	252	
	全体割合*2	6.3%	8.4%	9.2%	7.9%	
	合格率*3	39.9%	46.5%	41.6%	42.6%	

*1: 全受験者数に占める当該受験者数の割合 *2: 全合格者数に占める当該合格者数の割合
*3: 当該受験者数に占める当該合格者数の割合

一般社団法人日本医療経営実践協会公認

6月開講! 特設サイトで受講者募集中

医療経営士 実践研究講座

実践力が身につく3つのポイント

- ★医療経営の現場を熟知した医療経営士から学べる!
- ★短期間で実務能力を高めるカリキュラム!
- ★双方向型の効果的な授業スタイル!

- 主催・運営
ヘルスケア経営学院
- 会場
ニッテン神田ビル3Fセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17)
- 定員
各講座35名

■受講料(税込) ※割引制度有

「一日 特訓講座」
(5~8時間程度、昼食付)

医療経営士:4万円/一般:5万円
※一般のみ入学金1万円(2019年9月までは無料)、受講者には履修後、修了証を発行

「短時間 集中講座」
(2~4時間程度)

医療経営士:1万5,000円/一般:2万円